

防衛大臣

小野寺 五 典 様

横田基地に関する情報提供について（要請）

平成 2 5 年 8 月 8 日

瑞 穂 町
瑞穂町議会

横田基地に関する情報提供について（要請）

横田基地は、昭和15年、当時の軍部により強制的に用地を買収され、陸軍多摩飛行場として設置されました。戦後、接収され米軍基地となり、昭和30年代には数次にわたる拡張がなされ、滑走路が瑞穂町の中心部をえぐるように伸びております。

このため町民は、常に航空機の騒音に悩まされ、いつ起こるとも知れぬ航空機事故に不安な日々を送ってまいりました。また、建築物の高度制限等の土地利用上の制約もあり、町の発展を大きく阻害されておりますが、国策による施設であるとして堪え忍んでまいりました。

平成11年4月23日、石原慎太郎氏が東京都知事に就任し、米軍横田基地の軍民共用化が表明されました。これに対し、瑞穂町議会では同年5月10日の臨時会において軍民共用絶対反対の決議を全会一致で採決し、それ以降、町とともに関係機関に対し要請してまいりました。

平成24年12月に都知事に就任した猪瀬直樹氏も、共用化推進を表明しております。また、横田基地所属機の緊急着陸や軍人軍属による事件等が発生しています。

さらに、普天間基地移設に関連して、在日米軍再編計画にも影響を及ぼすような見直し、それに伴う沖縄県の負担軽減策の情報が各種報道などから知らされるということは、沖縄県と同じく米軍基地を抱える当町としてより不安が募る状況にあります。特に、普天間基地所属機のオスプレイが日本本土に設定された飛行ルートで訓練を行うことについて、町民の不安が高まっている中、日米両政府が空軍仕様オスプレイの配属先を協議中であり、横田基地が有力な候補地であると報道された。突然の報道に戸惑いを覚えるとともに、地元自治体への説明もなく協議がされてきたこと

は大変遺憾である。

このことから、横田基地に関する情報について、正確かつ迅速に提供するよう強く求めます。

貴職におかれましては、飛行直下に位置し、航空機騒音被害をより多く受けている瑞穂町の実情をご賢察の上、特段のご配慮をいただきたく要請いたします。

平成25年8月8日

東京都西多摩郡瑞穂町

瑞穂町長 石塚 幸右衛門

瑞穂町議会

議長 石川 修

瑞穂町議会基地対策特別委員会

委員長 原 成 兆